JAしまねびより

2019
5
May Vol.38

今月の特集 島根のいいもの再発見!!「隠岐の島町 繁殖牛」 隠岐地区本部

JAしまね 石見銀山地区本部版

来月の外勤日は 6/19㈬・20㈭

島根には誇れる農産品がたーっくさん!

島根のいいもの再発見!!

直撃・生産者インタビュー

隠岐の島町
繁殖牛

5月は、隠岐地区本部。隠岐の島町で、繁殖農家として肉用向けの子牛生産に取り組む、都万地区の野津賢三郎さん、田中修司さん親子のほか、町内における畜産業の現状を隠岐地区本部の広兼経済部長に伺ってきました。

強健な親牛から生まれる子牛が高い評価を受けている。

隠岐地域では和牛の生産を重点的に支援しており、県全体の頭数が減っている中、町内では増頭。数年前までは米の出荷額が1番だったが、現在では和牛の販売額が倍になるほど盛んになっている。平成23年頃からは地元の建設会社が畜産事業に参入し繁殖牛が増加。全国各地から隠岐の元気な子牛を求めて買い手が集まり、町内全体で年間350頭前後の子牛を出荷している。5、6年前からは遠く茨城県などからも市場に訪れる企業があり、高値で取引。若い就農者をはじめ町内を挙げて増頭を図っている。本日紹介する就農者は町内の畜産業を長きにわたって担うことが期待される30代です。

遺志を受け継ぎ、親子2人3脚で

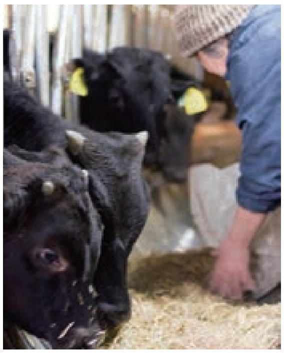
とても明るく気さくな田中さんと母の美砂子さん。祖父が数頭の繁殖牛を飼育しており、他界した兄と繁殖農家として経営を拡大することが夢でした。その遺志を引き継ぎ、田中さんと母の2人で繁殖牛を徐々に増やしています。現在は32頭の繁殖牛がおり、子牛を年に20頭余り出荷しています。

様々な想いを胸に、親子二人三脚で。素敵な田中さん親子。

田中さんの牛舎と運動場。右が生産拡大を見据え、JAの支援を受け新設された牛舎。

お産の立会いは夜中にも

何回かお産を経験した牛でもお産には細心の注意が必要です。お産専用の牛舎にはカメラを取り付け、逆子になっていないか、大きくなりすぎて難産にならないかなど入念に牛の状態をチェック。夜中だろうが早朝だろうが牛舎に駆け付けてお産に立会い、授乳がうまくいったのを確認してからようやく牛舎を離れます。人と一緒で親の乳を飲ませると免疫力が強くなるので牛の性格を見極めながらたくさん乳を飲ませるよう心掛けています。また牧草を育てていますが、雨に当てずに全量収穫しなければならないほか、昨年は天気の関係で2番草が取れず、止むを得ず牧草を購入。頭数も増えたことにより、餌のコストも増加し、冬場の粗飼料不足をどう解消するのかが現在の課題となっています。



お二人の愛情とたゆまぬ努力が元気な子牛を育てているのだと確信しました。

放牧で育つ強健な親牛から生まれる子牛は、風邪や下痢などの病気に強く、将来的に肉用牛として立派に育つと評判の隠岐の子牛。母の美砂子さんは牛を出荷する時にお神酒をかけて「ありがとう」の感謝の気持ちを忘れません。修司さんは感謝の気持ちとともに、兄と夢を描いた法人化を見据え50～60頭を飼育する計画を進めています。

レンズを向けると寄ってきてくれる、元気で人懐っこい母牛たちも、とても印象的でした。

脈々と受け継がれる畜産への想いと、隠岐の畜産の未来を感じることができる取材となりました。

「牛突き」との二頭流

以前は建設会社に勤務していたという野津さん。公共事業の削減で仕事が減少していくのを目の当たりに。何かしなければと思い、長らく伝統文化の「隠岐牛突き」に携わっていたことから、8年前から繁殖牛を飼育。現在は地元の観光協会スタッフとして闘牛を飼育し、月に10番程度の牛突きの取り組みをするかたわら、放牧と牛舎を利用して子牛を生産しています。

優しさ溢れるお人柄に、「二頭流」の先にある成功が見えた気がしました。

365日の飼育に課題

一人で繁殖牛9頭を飼育している野津さん。冬場以外は種付けされ受胎確認ができた繁殖牛を公共牧野に放ち、生産された子牛や授乳中の親牛等は牛舎で飼育。子牛は半年から8カ月位になったら年3回ある家畜市場に出荷しています。

毎日、繁殖牛や子牛への餌やりのほか、体調に変化が無いかなど、元気な子牛を生産・飼育するため、しっかり管理する必要があり、365日牛舎を離れることができません。離島ゆえに、研修などで出張する際には宿泊する必要も。止むを得ず留守にしなければならない時は知人に管理を頼んだりしますが、気兼ねなく出かけることができるよう、ヘルパー制度などがあれば、と関係機関に要望しています。今後は現在の9頭から15頭まで増やしていく計画で、牛舎をJAの農業振興支援事業など受けて新たに1棟を建設。約800年前、後鳥羽上皇をお慰めするために始まったとされる「隠岐牛突き」の継承を続けながら元気な子牛を生産しています。

手探りながら、様々なことを前向きに考え、繁殖に携わる姿が真っ直ぐで、とても素敵でした。

広兼部長によると、冬場の粗飼料不足や自給飼料の確保のため、休耕田など活用し稲発酵粗飼料（WCS）用の稲を町内で約40haほど栽培。そのうちの半分はJAで刈り取り、支援を続けています。また担い手確保のため、就農しやすい環境作りにも着手。今後はヘルパー制度などの仕組みづくりなど前向きに検討しているところです。

こうした環境整備と新規就農者の確保の両輪を回し、隠岐の畜産振興につなげていきたいと熱くお話をいただきました。

JAの支援を受けて新設された牛舎。飼育環境を考え、様々な工夫が施されていました。

繁殖牛 一口メモ

隠岐地域で最重要品目である和牛の出荷。島前・島後の4町村で盛んに生産を進めており、隠岐の島町は出荷額で知夫村を抜き、西ノ島町に次いで2番目の出荷額まで拡大している。各4町村で開いている家畜市場には茨城県から長野県、福岡県等から企業数十社・個人など全国各地から子牛を買いに訪れ、活況している。放牧を取り入れ、生まれた子牛は飼料を食べさせてから授乳するなど、腹づくりを徹底。1頭当たりは決して大きいほうではないが、牛の将来性を見込んで、キロ単価に換算すると高価格で取引されている。

雲南地区本部　# 青空市ぶなの里

産直へようこそ!!

旬の農産物や地域の特産品に出会える、島根県内の産直店舗をご紹介します。

飯南町を走る国道54号線沿いの「道の駅頓原」に隣接する「青空市ぶなの里」。その歴史は、地元農家の女性グループが中心となってテントで農産物の販売を開始したことに始まり、今年の3月には開設25周年を迎えた。

店内にはとれたての農産物などが並び、取材で訪れた日も地元の生産者さんが朝収穫したばかりの肉厚な原木シイタケを並べていた。生産者と直接会話して、おすすめの食べ方を教えてもらえるのも産直の魅力だ。

同直売所には出荷会員の顔写真が並べられているが、出荷会員数は増加していると本田啓子店長は話す。ぶなの里の戸田雅之会長が、周辺の生産者やIターンの新規就農者へ声を掛け出荷を促したことで、以前は70人程度だった会員も今では102人が登録するまでになった。その結果ぶなの里は、一般的には出荷量が減少しがちになる冬場をはじめ、1年を通して新鮮な農産物が安定して売り場に並ぶ直売所となった。「今でも定期的に新しい写真を追加するんですよ」と本田店長は笑う。

5月からは常連客にはおなじみの苗物が売り場に並ぶ。標高が高く昼夜の寒暖差が激しい当地で育つ野菜苗は、丈夫で多収量だと評判だ。苗物は同産直で一番の売り上げを誇り、松江や出雲などはもちろん広島からも多くの人が上質の苗を求めて訪れる。

そのほかには、地元で採れた食材で作られる豆腐、漬物、味噌、お餅などここでしか買えない逸品もたくさん。手作りの手芸品コーナーも充実していて、「ここのお店は楽しいね」と来店者に好評だ。また季節ごとに、山菜の天ぷらやぜんざいなどを販売するイベントも開催される。

ぶなの里といえば野菜苗！
5月は軒先にも苗が並ぶ
（写真は昨年）

店内には出荷会員の皆さんの
顔写真がズラリ

頓原といえば漬物と味噌。
手芸品も一点ものが並ぶ。

「目指すのは
顔が見える直売所！」
と話す本田店長

所 在 地：島根県飯石郡飯南町花栗48 道の駅とんばら隣
営業時間：５～10月 ８:00～17:30
　　　　　11～12月 ８:00～17:00
　　　　　１～２月 ９:00～16:00
　　　　　３～４月 ８:00～17:00
定 休 日：年末年始
Ｔ Ｅ Ｌ：0854-72-1530

JA
自己改革
実践中
JAグループ島根

JAしまね農業振興支援事業活用事例のご紹介

ＪＡしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「ＪＡしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

安来市　山下　勇人さん

山下勇人さんは３年前に大阪市から安来市にＩターンし、平成30年９月に安来市の特産であるイチゴの栽培を開始しました。現在、経営面積は７アールで、土耕栽培により「紅ほっぺ」を生産しています。

パイプハウスや高設ベンチなどの施設は、国・県の補助事業とＪＡしまね農業振興支援事業、やすぎ地区本部が整備した新規就農者育成支援リースハウスを活用しています。

今シーズンが初めての出荷ですが、「生産量、質ともに上々」と順調な出足に笑顔がこぼれます。

山下さんは、「ＪＡに支援してもらい、初期投資が軽減できてたいへん助かっています。今後、計画的に経営面積を拡大し、安来市の特産品であるイチゴ生産の担い手としてがんばっていこうと思います」と話してくださいました。

JA YOUTH

一所懸命 青年連盟

ＪＡしまね石見銀山青年連盟

ポン菓子体験を行う児童、盟友

ＪＡしまね石見銀山青年連盟は、大田市管内の青年農業者等35名で構成されています。

農業を守り発展させる活動として、毎年11月に開催されるＪＡふれあい祭でのポン菓子加工・販売は好評で、市内の保育園でのポン菓子加工実演も行っています。その他、食農教育活動として、ＪＡ女性部と連携した食農料理体験事業「家族と一緒におおだ産　とって！つくって！たべよう！」も平成28年より、継続実施しています。

また、農業を次世代へ引き継ぐべく、島根県立農林大学校の学生との交流も昨年度より実施しており、大田市への就農の相談や農青連への加入を促進していく活動も行いました。

今後もポリシーブックを活用し、青年連盟の活動をさらにＰＲして盟友を拡大していきます。

※ポリシーブックとはＪＡ青年組織の活動指針でもあり、政策提言集でもある、青年組織の活動の核となるものです。

JA YOUTH

石見銀山青年連盟のFacebookも是非ご覧下さい！

雲南 春休みにみんなで料理 災害時に役立つ調理法学ぶ

ＪＡしまね雲南女性部大東支部のメンバーが組織する「うしお料理クラブ」は４月２日、雲南市大東町の海潮交流センターで、地元の児童を対象とした春休みクッキングを開催し約30人が参加しました。

メニューは家の光協会が発行している「家の光」に掲載された料理の他に、耐熱包装食袋を使ったカレーやピラフ、プリンなどを作りました。耐熱包装食袋を使った調理法は、袋の中で味付けできたり、１つの鍋で複数回調理できたりするため水が貴重となる災害時にも役立ちます。

同クラブの富山邑子代表は「子ども達が防災への意識を高めるきっかけになればうれしい」と狙いを話し、参加した児童は「袋で料理できるなんてびっくりした。プリンが好きだから家でも作ってみたい」と笑顔で話した。

クラブのスタッフから指導を受けながらプリンを作る児童

くにびき 八束学園でマグカップ寄贈 ～学園生活の思い出に～

八束支店運営委員会（池田至郎委員長）は３月20日、松江市八束町の市立義務教育学校八束学園を訪れ、６年生42名に「オリジナルマグカップ」を寄贈しました。

同委員会は、地域貢献の一環として2013年度から、同学園の６年生を対象にオリジナルマグカップの製作と寄贈を行っています。

この日寄贈したマグカップは、２月27日に児童自身が描いた絵や持ち寄ったシールなどを貼っていき、焼付けを完了させたもの。

当日は、同委員会の事務局長を務める池田久夫支店長が「マグカップをいつまでも大事に使ってください。これからも一緒によりよい地域をつくっていきましょう」と挨拶。その後、先生が個性溢れるマグカップを児童一人ひとりに手渡しました。

早速、箱からマグカップを取り出した児童たちは、出来栄えに笑顔を見せながら「思い出がひとつ増えてよかった」「優しく丁寧に教えていただいたおかげで、上手にできた」と話しました。

隠岐 芝桜が満開

隠岐の島町飯田地区において、地域住民のボランティア活動により定植された芝桜が４月中旬には満開となり見頃となった。（活動詳細はしまねびより10月号のトピックスにて紹介）今では、地域の方の目を楽しませているだけでなく、他の地域からも花を見に来る人も多い。地域活動に参加した１人は、「苦労して作業したことが実を結び、鮮やかなピンク色の花に彩られた群生を見てやって良かったと思う。地域の方々と酒を酌み交わしながら花見をすることが楽しみ」と語った。

この活動支援として、ＪＡしまねの地域貢献・地域活性化支援事業を利用し助成をさせて頂いていますが、引き続き地域貢献のため、地域の活動を応援していきたい。

やすぎ 家の光介護予防講座スタート！

やすぎ地区本部は赤江支店で４月12日、2019年度家の光介護予防講座を開催しました。同講座はＪＡ島根厚生連の職員による健康体操教室や雑誌『家の光』を活用した講座を毎月１回開催しており、昨年度から引き続き参加される方に加え、今回新たに参加される方も含め計34名の応募がありました。

第１回目となる今回は24名が参加し、まずは自分の身体について数値で知ってもらうため、身長体重や骨密度、歩くスピードなどを測定しました。また講義では、それぞれの数値の説明や「立つ」「歩く」といった移動機能が低下した状態のロコモティブシンドロームについてなど、運動することの大切さを学びました。最後に椅子に座りながらできるエクササイズを行い、参加者は「皆さんと一緒に運動するのは楽しいです」と話されました。

斐川 チューリップ20万本咲き誇る！

4月13日、14日の両日、出雲市斐川町今在家で「花のまち出雲」を象徴するチューリップ祭りが開かれました。今年は60アールの圃場に20種類のチューリップ約20万本が咲き誇り、満開の見頃を迎えたチューリップを目当てに、町内外から訪れた多くの家族でにぎわいました。来場者は「毎年楽しみにしている。色とりどりのチューリップを見ることで春を感じられる」と話し、会場では生産者や地元有志による焼きそばやフランクフルトの販売、斐川地区本部も地元産青ネギをふんだんに使った「ねぎ焼き」のＰＲを行いました。満開のチューリップは４月中旬まで楽しむことができ、会場の目印として恒例のこいのぼりと、道路に面して置かれるチューリッププランターが来場者を出迎えます。

満開のチューリップ畑

隠岐どうぜん 野だいこん祭りでニコニコおむすび大作戦！

４月20日、好天に恵まれた土曜日に、知夫村の玄関港・隠岐汽船フェリーターミナル駐車場周辺を会場に、「第28回野だいこん祭り」が盛大に開催されました。“野だいこん”とは、公共放牧地となっている赤ハゲ山の山頂一帯で薄紫色に咲き誇る“ハマダイコン”のことで、知夫の春を告げる祭り・島開きとして村民に定着したものです。

当地区本部は祭りには欠かせない出店コーナーの一角として参加し、定番である「しまね和牛」の販売と「みんなでやろう！ニコニコおむすび大作戦」と銘打った、海士町産の米と知夫村の食材をワンポイントしたおむすびを、参加者自身が握る企画を提供しました。

おむすびの具材は一般的な梅干や鮭等に加え、知夫村の山海漬や冬の代表的な海藻である神葉（ホンダワラ）の佃煮等、伝統的な食材も取り揃え、子供から年配者の方々が「大きいのがいい」「塩が効いたのがいい」などと楽しそうに具材を選び、各自２個ずつ握って食べました。途切れることがないくらい沢山の方の参加を頂き、有意義な春祭りとなりました。

石見銀山 ＪＡ女性部が清掃活動

ＪＡしまね石見銀山女性部（長久支部・静間支部・大屋支部・大田支部）が、４月２日に大田市長久町の地区本部周辺の美化活動を行いました。

この活動は、ＪＡしまねの３地区本部（出雲地区本部、斐川地区本部、石見銀山地区本部）の女性部が、それぞれの地域で実施し、今年で４回目です。

当日は早朝の８時より部員が集まり、大田市に流れる三瓶川周辺のゴミ拾いを行い、山﨑辰次地区本部長も参加しました。

森脇岸江女性部長は開始の挨拶で「地域がきれいになるようしっかりゴミを拾おう」と話しました。

また、久手支部、富山支部、川合支部も日にちは違うもののそれぞれの地域で美化活動を行いました。

ゴミ拾いをする女性部員

出雲 恒例のラピタビアガーデン今年もオープン

出雲地区本部は４月12日、恒例の「ラピタビアガーデン」をラピタ本店屋上で開始しました。小さなお子様からご年配の方まで幅広く楽しんでいただける交流の場として毎年開催しています。

初日は会社帰りの方を中心に約210人が来場。オープニングセレモニーでは、ＪＡしまね出雲女性部東部地区「だんごの会」のスコップ三味線や地元バンド「ジージーズ」の演奏、津軽三味線などが会場を盛り上げました。

ビアガーデンは、９月末まで毎日午後５時半から９時まで営業します。今年は５月末まで土・日・祝日を除き、300円プラスで焼肉食べ放題も企画しました。700席（雨天時は300席）を設け、バイキング方式で飲み放題、食べ放題となっています。季節に合わせた料理や楽しんでいただける企画、お得な企画を多数用意し、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

ご予約・お問い合わせは生活部ブライダル課
TEL0853-21-6063まで。
（お問い合わせ時間／９：30～20：00）

西いわみ　ＪＡしまね西いわみ女性部鎌手支部 総会開催そば打ちも体験

ＪＡしまね西いわみ女性部鎌手支部（支部長両見宣子）は４月８日、益田市西平原町の鎌手地区振興センターで平成30年度の通常総会を開きました。

平成30年度活動では「ほめられ酢」を使った料理教室や福祉施設へのおやつサービス提供の実施等を報告、平成31年度は「農の生け花」の展示など積極的な活動をしていく事を確認しました。

そば打ち講習では、講師に招いた地元在住の農業細川恒之氏から手打ちそばの作り方を教わりました。

生地のこね方や伸ばし方、力加減などを指導してもらい、打ちたてのそばを昼食として全員でいただきました。

島根おおち　ＪＡしまね島根おおち青年連盟 組織活性化および『地上』編集研究会

ＪＡしまね島根おおち青年連盟は、青年組織の活性化、組織基盤の強化を図る「学習強化運動」をすすめるためのモデル組織に選定されたことを受け、盟友同士の結束を深めるため月刊誌『地上』を使った、組織活性化および『地上』編集研究会を開催しました。

研究会では事前に行っていた、農業、青年連盟活動、地域活性化等についてのアンケート結果が報告されたほか、家の光協会から全国の青年組織活動の事例紹介や『地上』の編集方針、編集企画についての説明がありました。その後、７、８名の班をつくり、今回の研究会のメインであるグループワークを行いました。テーマを「青年連盟活動を継続し発展させていくためには」と設定し、盟友同士が意見交換を行い、テーマを全体的に考え議論を進める班、現在行っている「愛菜カレーの日」の活動を切り口に議論を展開する班と様々でしたが、それぞれに盛り上がりをみせました。

島根おおち青年連盟では、今後も盟友同士の意見交換を行う場を設け、結束を深めるとともに組織の活性化を図っていきたいと考えています。

本店　ＪＡしまね入組式 新たな力に期待

４月１日に松江市の島根ＪＡビルで入組式を行い、今年度は49人の職員を新たに迎えることができました。

入組式では新入職員を代表して、雲南地区本部の石原宏樹職員が「ＪＡしまねの職員という誇りをもち、信頼してもらえるよう力を出していきます」と決意表明しました。

同日より新入職員向け研修「ＪＡ島根ユースカレッジ新入職員課程」もスタートし、ＪＡ職員をはじめとしたＪＡグループ島根の新入職員合わせて62人が、約１年かけてＪＡの基礎知識や社会人としての心構え、ＪＡ職員として必要な基本的知識や実務を習得します。

竹下正幸組合長は「この研修会で仲間をつくり、社会人・ＪＡ職員として基礎を学び、共に頑張っていく気持ちで突き進んでほしい」と激励しました。

ＪＡしまねの新米職員にむけて、皆様のご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

新入職員代表で決意表明をする石原宏樹さん

いわみ中央　プルタブ回収運動で車いす贈呈 ～小さな積み重ねが地域貢献に～

いわみ中央地区本部（井上宗治地区本部長）とＪＡしまねいわみ中央女性部（徳田マスヱ部長）は４月上旬、自走式車いす１台を浜田市社会福祉協議会（大谷克雄会長）に贈呈しました。同事務所を訪問し地区内の介護支援活動に役立てて欲しいと贈ったものです。これは、いわみ中央地区本部と女性部が平成24年度より管内組合員・女性部員にそれぞれ呼びかけているエコ運動の一環で、地区本部管内の各支店・事業所でのプルタブ回収と女性部統一運動の成果として行っています。井上宗治本部長は「捨ててしまえばただのゴミだが集めれば有効な資源として車いすに変え贈ることが出来る。今後もこのような活動を続けて行きたい」と話しました。受取った大谷克雄会長からは「一昨年も贈呈いただき介護支援活動に活用させていただいております。有難うございます」とお礼の言葉をいただきました。

クロスワードパズル

出題●ニコリ

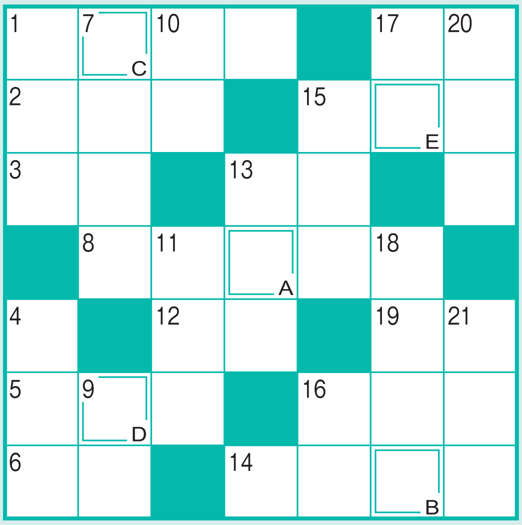
タテのカギ

①人に相談すると解消することも
④障子やふすまをはめます
⑦ガロのヒット曲『――街の喫茶店』
⑨改札やホームがあります
⑩漢字では「茱萸」や「胡頽子」と書きます。サクランボに似た実がなります
⑪舞台の上で演じられるもの
⑬子守熊ともいわれるオーストラリアの動物
⑮太陽の光がよく当たる場所
⑯――遣い　――口　――足
⑰夏至は一年で最も――が短い日
⑱日本三景の中で一番北にあるのは
⑳平熱よりも少し高め
㉑人家の軒先に巣を作ることもあります

ヨコのカギ

①雨の多い時期に活躍する履き物
②ネギやごま、七味唐辛子など
③ショッピングモールにはたくさん並んでいます
⑤新進――の芸術家
⑥吸ったり吐いたりします
⑧融通が利かない人
⑫父の日に、黄色い――の花を贈る習慣もあります
⑬物を非常に細かく砕いた状態
⑭未熟なうちに収穫した大豆
⑮ランチの後にうとうと
⑯歯磨きをして予防します
⑰もしものときのために準備しておく物。スペアともいいます
⑲トイレットペーパーの芯やちくわのような形のこと

二重マスの文字をＡ～Ｅの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え

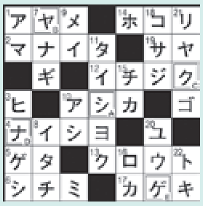
A	B	C	D	E

応　募　要　項

●応募方法　ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
●賞　　品　正解者の中から抽選で40名（ＪＡしまね全体）の方に「ＪＡ商品券」をお贈りします。
●当選者発表　賞品の発送をもってかえさせて頂きます。
●宛先・締切　〒694-0041　大田市長久町長久ハ56-1
ＪＡしまね　石見銀山地区本部　企画推進課　「クイズ」係
2019年６月５日（水）（当日消印有効）

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

◆先月号の答え◆
「シャクナゲ」



けんこうさんぽ
健康散歩

JA島根厚生連

森林浴に出かけましょう!!

風薫る爽やかな５月。新年度を迎え１ヶ月が過ぎ、少々お疲れが出ていませんか？身も心も…。

今回は、その疲れを癒す１つの方法として森林浴に目を向けてみました。

日本は国土の７割程度は森林が占めていて、世界でも有数の森林国です。ここ山陰でも数多くの自然に囲まれており、森林セラピーとして推奨されている地域がたくさんあります。1982年に『森林浴』という言葉として提唱されました。その22年後の2004年には、科学的（医学的）効果が解明された森林浴を『森林セラピー』という言葉で提唱されるようになったということです。

広く一般的に知られている森林浴ですが、あらためて森林浴とは、「森林を散策して樹木の香気を浴び安らぎや爽快感を得る。また、樹木に接し精神的な癒しを求める行為」とあります。なんだかこう読んでいると、堅苦しくて、億劫になってしまいますね？とりあえず、キラキラと輝き、目にまぶしい木々の緑の中に出かけてみましょう。

緑の中に入ると誰でも大きく深呼吸をしてしまいます。条件反射のように大きく山の精気を吸い込む、吸い込みたくなることがまさに森林浴とその効果です。緊張感や疲労感が緩和され穏やかな気持ちになり、血圧や脈拍数が低下するなど、心理的にも身体的にもリラックスした状態になることも確認されています。さらに、２日間の森林浴では、がん細胞を攻撃するナチュラルキラー細胞（ＮＫ細胞）が活性化し、抗がん作用効果もあるといわれています。

木の芽どきの体調を崩しやすいこの時期に、新緑の美しい自然の中に身を投じ、思いっきり木々の恵みを吸い込んで、身も心もリフレッシュしましょう！そして、また明日から元気にスタートしましょう。

1号車 大田小㊛・長久小・朝波小

2号車 大田小㊚・川合小・五十猛小・静間小・久手小

3号車 温泉津小・仁摩小・志学小・高山小

卒業記念 東京夢紀行

JA石見銀山地区本部が３月26日から３日間、大田市内の小学校を卒業した児童90名を対象に「卒業記念東京夢紀行」を実施しました。参加した児童たちは、東京スカイツリー、東京ディズニーランド、上野動物園などの観光を楽しみました。

この旅行は長年続いており、中学校入学を控え、一足早い友達作りにも役立っています。旅費は保護者の方がJAの定期積金にて積立を行い、準備したものです。

JAでは、この旅行を今後も継続していきます。詳しくは下記の広告をご確認ください。

予告版

小学校卒業記念「東京夢紀行 定期積金」募集

JAの定期積金で行く（旅行参加対象者は小学6年生です）
東京ディズニーランド3日間

ご旅行出発日 2020年3月下旬（予定）　**概算旅行代金** 86,800円（予定）（都内２泊のゆったり３日間コース）（JAしまね石見銀山地区本部発着起点）

○添乗員／同行します　○食事条件／朝2回、昼1回、夕3回（弁当含む）　○利用予定ホテル／ホテルモントレ半蔵門または同等クラス
○利用航空会社／ JAL（日本航空）　○輸送機関／ JR、新幹線のぞみ号（普通車指定席）

ご旅程表（予定）

	行程　◎入場観光　○下車観光　△車窓観光	食事	宿泊地
1	JAしまね石見銀山地区本部管内各地（6:00～7:00）═ 出雲縁結び空港（9:00～10:00）─JAL便→ 羽田空港（10:30～11:30）═バス═ ◎八景島シーパラダイス（昼食・自由食）═ ◎東京スカイツリー（展望デッキ）═ ホテル（泊）（18:00）	朝：× 昼：自由 夕：○	東京都内（洋室利用）
2	ホテル（8:00）═ **◎東京ディズニーランド**（パスポート券付・昼食自由食）═ 都内（夕食）═ ホテル（泊）（19:30）	朝：○ 昼：自由 夕：○	東京都内（洋室利用）
3	ホテル（8:30）═ ◎上野動物園 ═ 東京駅（弁当）（12:30～13:30）─のぞみ─ 岡山駅（16:00～17:00）═貸切バス═ JAしまね石見銀山地区本部管内各地	朝：○ 昼：弁 夕：弁	

旅行の申込み

当旅行につきましては㈱農協観光より予告版としてご案内させていただきますが旅行の実施については、2020年1月中旬に改めて正式な募集広告を積金加入者宛送付させていただきます。ご旅行に参加される方は、正式書面を確認後、㈱農協観光と募集型企画旅行契約を締結することとなります。

旅行に関するお問い合わせは

株式会社農協観光代理業 JAしまね石見銀山旅行センター
TEL 0854-82-3501

■旅行企画・実施 NOKYO TOURIST CORPORATION
一般社団法人日本旅行業協会 正会員　観光庁長官登録旅行業第939号
株式会社 農協観光島根支店
島根県松江市千鳥町15 コープビル1F
総合旅行業務取扱管理者　水田　章信
☎(0852)26-2600
ボンド保証会員　旅行業公正取引協議会会員

積立方式

6年生対象　2020年３月実施

毎月掛金	10回(5月スタート)	9回(6月スタート)	8回(7月スタート)	7回(8月スタート)	6回(9月スタート)
20,000	200,000	180,000	160,000	140,000	120,000
10,000	100,000	90,000	80,000	70,000	60,000

★卒業記念に東京ディズニーランドや都内観光などを満喫するチャンス!!
★積立方式は各通りあります。

5年生対象　2021年３月実施（料金が変更になる場合があります。）

毎月掛金	22回(5月スタート)	21回(6月スタート)	20回(7月スタート)	19回(8月スタート)	18回(9月スタート)	17回(10月スタート)	16回(11月スタート)
10,000	220,000	210,000	200,000	190,000	180,000	170,000	160,000
5,000	110,000	105,000	100,000	95,000	90,000	85,000	80,000

○積金表は、給付補てん金を含んでおりません。
○積金の満期日は、施行実施月に満期になるように設定させていただきます。
○満期後、お客様のご希望により、㈱農協観光が企画・実施する「東京夢紀行」の旅行代金に充当させることが出来ます。
なお、お客様のご都合により、当該旅行への不参加の場合は、満期金全額をお客様がお受取いただきます。

当定期積金のお問い合わせは

JAしまね 石見銀山地区本部
金融課及び各支店
TEL0854-84-9054

おおだ産デラウェアの出荷が始まります！

大田市ぶどう生産組合では５月下旬から、『デラウェア』の出荷がスタートします。

鳥井町でぶどう栽培を営み、出荷に向けて調整作業を続ける大田市ぶどう生産組合の原田武敏さんに、お話を伺いました。

現在の規模はデラウェア40㌃、シャインマスカット８㌃、巨峰14㌃、神紅5.4㌃で、奥さんとお母さんとで経営されています。

Q「農業を始めたきっかけは何ですか？」

A「小さい時から家がぶどう経営をしていたので、将来的には自分がすることになると考えていました。平成11年から親元就農し、ちょうど20年になります」

Q「20年の中でやりがいや苦労は何ですか？」

A「やはり、いいぶどうを作れたときにやりがいを感じます。直売も行っているので、お客さんに"美味しい"と言ってもらえることが嬉しいです。苦労したことは、作業のタイミングです。ぶどうは待ってくれないので、とにかく終わらせるしかない。収穫が夜の２時まで続いたこともあります」

Q「原田さんは国や県、ＪＡの事業を活用し、リースハウスを利用されています。どういった思いから事業を活用されましたか？」

A「守りだけでは今後、営農できないとの思いから活用を決めました。リスクは伴いますが、自分の成長につながると思っています。農業を次世代に引き継ぐためにも、これからさらに頑張ります」

Q「これからぶどうのシーズンに入っていきます。今後の抱負を聞かせてください」

A「質のいいぶどうを作っていくという理念は変わりません。今は安全・安心は当たり前。その中で、どう自分のぶどうに、どうやって付加価値をつけていくかだと思っています。質のいいぶどうをたくさん作って、多くの皆さんに食べてもらいたいです」

大田市ぶどう生産組合は、９戸の生産者が『デラウェア』を主力に『シャインマスカット』『巨峰』などを栽培しています。平成28年１月に策定した『ぶどう生産１億円産地の達成』『大田ブランドの確立』『次世代につなげる夢ある産地づくり』などのビジョン実現に向けて、大田ぶどうの振興に、より力を入れます。

３月には、数名の組合員がリースハウスを活用し、さらなる生産拡大に向けてスタートしたところです。

贈答用おおだ産ぶどうのご案内

おおだ産 デラウェア

発送期間：６月上旬～７月上旬

デラウェアは「紫のダイヤモンド」と呼ばれ
さわやかな甘さと食べやすさが人気です。
長年、大田市で生産されてきました。

２kg箱（11～14房） **3,980円**（税込）

※詳しくは、チラシをご覧ください。

お問い合わせは、JA 生産販売課まで ☎0854-84-9058

千両箱トピックス

TOPICS 1

●アスパラガス試食宣伝
消費者へこだわり伝える

石見銀山アスパラガス生産組合は4月12日、長久町のJAグリーンおおだにおいて、アスパラガスの試食宣伝をしました。

同組合組合員が6名参加し、大田市産アスパラガスをお値打ち価格で販売する他、アスパラガスをたっぷり使った試食を振舞いました。

試食は、『アスパラガスのナムル（ごま和え）』、『アスパラガスの肉巻き』、『アスパラガスのガーリックバターソテー』の3品で、試食だけでなく、レシピカードも配布しました。組合員一人ひとりが、こだわりやおすすめの食べ方などを消費者に伝えました。

試食した消費者は「美味しい」、「レシピを参考に作ってみたい」などと感想を話しました。

試食販売を行う組合員

TOPICS 2

●大田市長へアスパラガスを贈呈
魅力やビジョン伝える

石見銀山アスパラガス生産組合の岩﨑勝男組合長他4名が4月18日に、大田産アスパラガスのPRのため大田市役所を訪れ、現在出荷しているアスパラガスを楫野弘和市長に贈呈しました。

アスパラガスを渡すだけでなく、アスパラガスをたっぷり使った料理も披露。『アスパラガスのナムル』、『アスパラガスのガーリックバターソテー』を振舞いました。

岩﨑組合長は「今の時期は一番甘味があって美味しい。是非食べてもらいたい」と話し、試食した楫野市長は「私自身もアスパラガスが大好き。とても美味しい」と太鼓判を押しました。

楫野市長（左から２人目）にアスパラガスを贈呈する石見銀山アスパラガス生産組合の組合員

TOPICS 3

●JAしまね石見銀山女性部総会
全議案が承認

JAしまね石見銀山女性部（以下、女性部）は4月22日、長久町のJA地区本部において、第4回JAしまね石見銀山女性部総会を開き、114人の部員が出席しました。女性部の森脇岸江部長は「女性の元気は地域の元気。今後も身近な活動を充実させていくので、協力をお願いしたい」と話しました。

総会では、全議案が承認されました。

女性部は、昨年4月9日に発生した島根県西部地震の際に迅速に炊き出しを行い、地域に貢献したとして、4月14日に大田市で開催されたシンポジウム内で、楫野弘和大田市長から感謝状を贈呈されています。

今年度も、食農教育活動や地域を元気にする活動を展開していきます。

総会で感謝状を披露する森脇部長

TOPICS 4

●JAバンク教材寄贈式
食農学習に活かす

船木教育長（左）に目録と趣意書、
教材を手渡す山﨑本部長（右）

JA石見銀山地区本部は大田市内小学校へ、JAバンク教材本『農業とわたしたちのくらし』を寄贈しました。

4月12日には、大田市役所にて寄贈式が開かれ、同地区本部の山崎辰次本部長から大田市教育委員会の船木三紀夫教育長へ、目録と趣意書が手渡されました。

教材の寄贈は、平成20年から小学校5年生を対象として贈呈しており、4月中に市内の小学校に配布されました。

山﨑本部長は「この教材を通して、食と農に関心をもっていただけると有り難い」と話し、船木教育長は「大切に活用させていただく」と応えました。

TOPICS 5

●メロン栽培現地検討会
さらなる品質向上を目指す

講義を行う古手さん

温泉津町施設園芸組合は4月18日、19日に温泉津町井田地区で、メロン栽培現地検討会を開きました。講師に千葉県の公益財団法人園芸植物育種研究所の古手敏治さんを迎え、組合員11名が受講しました。

18日には井田まちづくりセンターにおいて、座学が行われました。安定した品質でメロンを生産するために、この時期の注意点やスムーズな活着という視点から解説されました。

19日は組合員のハウスを数箇所巡回し、座学で説明した注意点を確認しながら、組合員に栽培のコツを説明しました。

同組合が生産する温泉津メロンは、7月上旬に出荷が始まる予定です。

TOPICS 6

●全職員大会
職員の意識統一を図る

講演を行う杉山営業所長

JA石見銀山地区本部は4月20日、地区本部において、全職員大会を開きました。

同地区本部の山﨑辰次本部長は冒頭の挨拶で「職員が農家のみなさんの力にどれだけなれるかが重要。しっかり勉強し、業務に活かしていただきたい」と語りました。

研修会では、農林中央金庫松江営業所の杉山浩之営業所長より講演がありました。

自身の経験に基づく業務に対する心構えや考え方など、担当事業の垣根を越えた話やユーモアを交えながらの経験談に、職員は真剣な表情で聞き入っていました。

講演終了後は、各部代表の職員より決意表明が行われました。

TOPICS 7

●平成31年度おおだ農援塾開講式
新たに『ぶどう栽培実践講座』を開設

受講生へ激励の言葉を送る生越塾長

島根県、大田市、JAの三者は4月22日、大田市役所で『平成31年度おおだ農援塾開講式』を開きました。

今年度は14人が受講します。

受講生たちは『産直やさいづくり講座』『ハウス野菜栽培実践講座』『柿づくり講座』の3つの講座に分かれ、ほ場での実習を中心としたカリキュラムを1年間受け、栽培技術の習得を目指し、農業の基礎を学んでいきます。

また、今年から『ぶどう栽培実践講座』も新たに開設され、1名が受講します。

生越大地塾長（大田地方農業士会長）は「体調に気をつけながら、有意義に楽しく1年間、学んで欲しい」と受講生たちを激励しました。

わいわいひろば

このページは皆様のお便りが頼りです。
お便りお待ちしております♪

読者コーナー

■暖かくなり、ほっこりする日々です。そろそろ周りも賑やかになり（農機具の音）、目にも色鮮やかに映り（花の色）、虫も土の中からひょっこりと。春ですね。また新しいランドセルがお目見えですね。（Tさん）

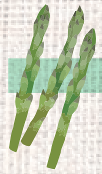
■春が来ました。家庭菜園が忙しくなります。まずは人参の種まき、じゃがいもの植え付け、同時に雑草も伸びてきました。（Kさん）

■「家庭菜園」は毎月、読んでいます。できることは実行しています。野菜の作り方や種まきなど、これから少しずつやっていきますが、まだまだ野菜作りが下手なので、これから頑張ります。（Iさん）

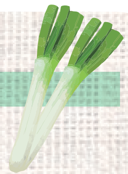
■主人は家庭菜園をしております。毎月、楽しみにしています。私はやっぱり、料理の欄ですね。変わったレシピが載っているので、楽しみにしています。（Hさん）

■先日、JAで買った北あかり（ジャガイモ）を植えました。10年くらい前から孫と収穫を楽しんでいるのですが、今年も猿に取られず、無事に収穫ができることを願いながら植えています。（Yさん）

担 先月より、「JAしまねびより」がリニューアルされました。石見銀山地区本部の記事である「千両箱トピックス」も、数年ぶりのリニューアルです。
　これからも、皆様にいろいろな情報をお届けできるよう頑張ります！



アスパラガス・白ネギほ場見学会



　JA石見銀山地区本部では、アスパラガス、白ネギの栽培に興味がある方を対象に、ほ場見学会を行います。
　両品目は、近隣市場や給食センターにも出荷され、需要があり、出荷量が足りていない状況です。
　お知り合いの方もお誘い合わせの上、是非ご参加ください。

日　　時：2019年（令和元年）5月20日（月）　13：30～16：30
　　　　　※小雨決行
集合場所：JA石見銀山地区本部　駐車場　（長久町長久ハ56-1）
内　　容：アスパラガスほ場見学（長久町・鳥井町）
　　　　　白ネギほ場見学（三瓶町）　※現地解散となります
そ の 他：各自お飲み物をご準備ください
　　　　　参加を希望される方は、5月17日（金）までにご連絡ください

お問い合わせ：JA 生産販売課　☎0854-84-9058

医療法人 郷原医院

健康豆知識

――病気も生き物

院長 福田(ふくだ) 亮(りょう) 先生

医学は非常に不確定です。時に想像もしないようなことが起こります。1年前に異常が無かった胃に巨大な腫瘍ができたとか、昔の炎症の名残と言われた肺の小さな影が急激に大きくなる等々。こういうことは全く予測がつきません。統計上、平均的な予測はできるのですが、正直その通りにいかないことも多々経験します。病気も生き物であり、機械と違い時に予測不能な行動をすることがあります。糖尿病、高血圧などの人が食事・運動などの節制を怠り、内服もせずに数年を経過して悪化しても自業自得の世界ですが、こと腫瘍に関しては、節制生活を送っていても、無慈悲に暴走してしまうことがあります。再検査は3年後でいいとか、5年は大丈夫と常識的な線はあっても、あくまで統計上の話です。翌年癌が出た、一気に進行癌になるケースはあります。でもそれは「統計上非常に希なケース」ということで片付けられてしまいます。何万分の1だから「まず無い」と言われても、自分がなったら洒落になりません。何が言いたいのか?そう、内視鏡や超音波検査などは「した方がいい」と言われたら「した方がいい」ということです。医療費や手間、検査の不快感などを考えるとやりたくないと思うでしょうが、やはり言われた時は検査はした方が良いと思います。生殖能力のある40代までの人は一般に病気から守られていますが、その恩恵をほとんど感じません。しかし、生殖能力を失うと、生物学的には「後は野となれ、山となれ」の世界で、地獄の釜の蓋が開くように病気が暴走し始めます。これは子孫繁栄を第一とする生物の世界に共通の特徴であり、人間も例外ではありません。この世代になったら、健康な体は既に「当たり前」ではなくなります。性悪な病気に対抗するには、早め、早めに調べるしかありません。

子牛市場 平成31年4月17日

石見銀山地区本部管内 4月子牛市場ランキング ベスト5（本人取り除く）

メス最高 三瓶町志学 高田 駿さん

▶令和になっても、いい牛を出せるよう頑張ります。

ヌキ最高 仁摩町 林 和枝さん

▶また頑張ります。

【ヌキ】

順位	地区	氏名	体重	日齢	父	祖父	祖祖父
1	仁摩	林 泰三	358	262	安平幸	百合茂	美津照重
2	水上	㈱大田原農場	340	264	百合茂	安福久	平茂晴
3	井田	厚朴 邦広	281	247	久茂福	勝忠平	安福久
4	富山	竹下 満	298	274	幸紀雄	美津照重	勝忠平
5	富山	白石 祐	329	270	幸紀雄	美国桜	勝忠平

【メス】

順位	地区	氏名	体重	日齢	父	祖父	祖祖父
1	志学	高田 雅晴	301	280	諒太郎	安福久	忠富士
2	井田	奥田 康延	304	282	美津照重	勝忠平	金幸
3	富山	白石 祐	323	273	隆富志	百合茂	勝忠平
4	志学	木下 崇	288	262	久茂福	美津百合	茂重桜
5	志学	木下 崇	283	269	久茂福	第7福桜	糸晴波

4月子牛市場の成績表

（本人取り含む・金額は税込）

種別	市場	取引頭数	最高価格	最低価格	平均価格	対前月	対前年同月	平均体重	平均日齢
メス	管内	15	920,160	429,840	684,720	-37,008	55,080	263	271
	中央	106	1,063,800	381,240	747,584	25,565	78,405	275	277
	県	106	1,063,800	381,240	747,584	56,808	78,405	275	277
ヌキ	管内	23	976,320	764,640	853,810	21,467	66,130	306	267
	中央	149	1,010,880	517,320	841,349	26,420	32,009	307	273
	県	149	1,010,880	517,320	841,349	34,781	32,009	307	273

あなたもチャレンジ！
家庭菜園

取れたてが甘くておいしい
スイートコーン

園芸研究家●成松次郎

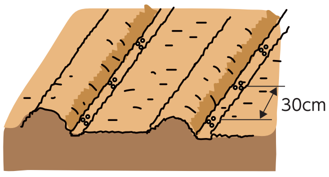
スイートコーンは温暖で強い日光を好む強健な野菜です。雄花が雌花より先に咲き受粉のタイミングがずれやすいため、集団で育てることが実入りを充実させるポイントです。

［品種］「みわくのコーンゴールドラッシュ」（サカタのタネ）、「おひさまコーン」（タキイ種苗）やバイカラーと呼ばれ黄色と白色が混じっている「ゆめのコーン」（サカタのタネ）などがあります。

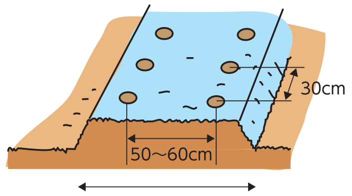
［栽培時期］遅霜の心配のない４月下旬～５月中旬が種まき期で、寒冷地では５月中旬～６月中旬です。

［土作り］畑１平方m当たり苦土石灰100gをあらかじめ散布しておきます。次に、畝幅80～90cmを取り、深さ20cm程度の溝を切ります。この溝１m当たり化成肥料（N-P-K＝10-10-10%）150gと堆肥１kgを施し、土とよく混ぜておきます。２条まきでは、幅90～100cmのベッドを作り、１平方m当たり化成肥料200gと堆肥２kgとを全面に施し、土とよく混ぜておきます。そして、ベッドを平らにならした後、早まきではポリマルチをします（図　土作り）。

土作り（1条まき）



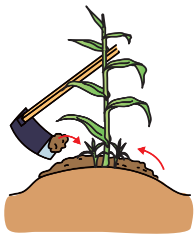
土作り（2条まき）



［種まき］株間30cm程度１カ所３～４粒の点まきします。ハトに食べられないように、寒冷しゃや不織布のべた掛けをしましょう。なお、１～２株の栽培や１列だけでは、花粉が不足しやすいので10株以上、または２列以上の集団で栽培してください。

［管理］草丈10～15cmで間引く苗を切り取り、１本立てにします。追肥は草丈50～60cmの頃、畝１m当たり化成肥料50gを列の片側に与え（ベッドでは１平方m当たり100gをベッドの両側）、株元へ土寄せします（図　追肥・土寄せ）。そして、上の雌穂を残し、下に付く穂を全て除き、１本１穂にすれば大きい穂になります。なお、脇芽は特に取り除く必要はありません（図　雌穂のかき取り）。

追肥・土寄せ



雌穂のかき取り

［病害虫防除］雄花がつき始めたころにアワノメイガが葉裏に産卵し、大きくなった幼虫は雄穂や雌穂（子実）に食入します。茎や子実に入り込んだ幼虫を防除するのは困難なので、雄穂が伸びだす頃に殺虫剤を散布します。

［収穫］絹糸が出てから３週間ほどたち、絹糸が褐変して先端の子実が乳白色に着色した頃です。早朝に収穫し、収穫後は急速に甘味が減少するため、早めに冷蔵庫に入れましょう。もちろん、すぐにゆで上げて食べるのが一番です。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

成松次郎（なりまつじろう）
神奈川県農業技術センター等で野菜の研究と技術指導に従事後、（一社）日本施設園芸協会で施設園芸及び加工・業務用野菜の生産・流通振興に携わる。現在、園芸研究家。

理事会情報（３月28日開催）

協議事項

①平成31年度県域品目販売手数料について
②「平成32年度島根県農業政策および予算に関する要望」の進め方について
③平成31年度補助事業（国庫及び県単補助事業）の実施について
④平成29年産飼料用米の最終精算について
⑤平成30年産備蓄米の最終精算について
⑥日本銀行歳入復代理店の申請について
⑦平成31年度余裕金運用にかかる年次運用方針について
⑧平成31年度第１四半期の余裕金運用計画額および運用方針について
⑨マネロンおよび反社会的勢力等への対応に関する規程類の一部改正・設定および特定事業者作成書面（リスク評価書）の改正について
⑩一般貸倒引当金の取り扱いについて
⑪平成31年度コンプライアンス・プログラムについて
⑫平成31年度個人情報保護計画について
⑬平成31年度における各種限度額について
⑭貸出金遅延損害金の減免について
⑮組合と理事との取引（契約）の承認について
⑯平成31年度事業収支計画について
⑰次期中期経営計画「収支計画」について
⑱特別損失（臨時損失）の計上と任意積立金の取り崩しについて
⑲「経理規程」の一部改正について
⑳「職制規程」の一部改正について
㉑平成31年（2019年）９月14日付け為替店舗統廃合の実施について
㉒出資口数の減少（減口）の承認について
㉓行方不明組合員等の脱退手続きに係る組合員資格の確認について
㉔地域・農業活性化積立金を活用したＪＡ共済連助成金制度の平成31年度活用方針について
㉕平成31年度ＪＡしまね「日本農業新聞」普及方針について
㉖平成31年度ＪＡしまね「家の光三誌」普及方針について
㉗雲南地区本部「雲南すずらん福祉センター居宅介護支援事業所」および住宅型有料老人ホームの廃止について
㉘職員就業規則等の一部改正について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

元気な島根を応援します！

2019年度 地域貢献・地域活性化支援事業

JAしまねでは地域における歴史・自然・文化等を活かした「地域力」発揮による「元気な地域づくり」を応援しています。

【事業内容】

①地域活性化に取り組むグループ・団体表彰
地域への貢献や活性化に取り組むグループ、団体を表彰します。（副賞20万円）

②地域活性化活動支援
地域への貢献や活性化に資する活動を維持・拡大または開始するための資金を支援します。（活動費用（飲食を除く）の2分の1。上限10万円）

支援総額 700万円

【対象団体】

①地域活性化に取り組むグループ・団体表彰
地域住民やJAの組合員が構成員であるグループ・団体・非営利法人（農事組合法人、特定非営活動法人に限る）で、活動歴が5年以上あること。ただし、次の場合を除く。①自治会、②過去に当該事業の表彰を受賞または活動費用の支援を受けたグループ・団体・非営利法人。

②地域活性化活動支援
地域住民やJAの組合員が構成員であるグループ・団体・非営利法人（農事組合法人、特定非営活動法人に限る）。ただし、次の場合を除く。①自治会、②氏子会、護寺会、③過去に当該事業の表彰を受賞または活動費用の支援を受けたグループ・団体・非営利法人。

※なお、表彰や活動支援は、当該事業全体を通して、1団体1支援とします。

【募集期間】2019年 5月13日（月）～7月31日（水）

【応募方法】お住まいの地区本部へ応募してください。

事業の詳細は、地区本部の地域貢献活動またはふれあい活動担当部署にお問合わせいただくか、JAしまねのホームページ http://ja-shimane.jp/ でご確認ください。

JA　しまね　検索

JAしまね

胸部ＣＴ検診を受けてみませんか。

～早期の肺がんを見つけるには胸部ＣＴ検診が有効です！～

〈肺がんは部位別がん死亡者数第１位です！〉

	１位	２位	３位	４位	５位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

国立がん研究センター「がん登録・統計2017」

〈肺がんの進行度別５年生存率※〉

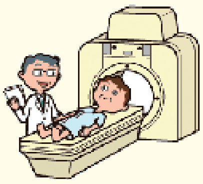
（進行度）　早期 → 進行

ステージ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
生存率	81.3%	47.9%	21.7%	4.8%

国立がん研究センター「がん登録・統計2017」

※5年生存率とは…がんと診断されてから、5年経過後に生存している割合

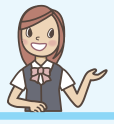
肺がんはがんによる死亡原因の第１位で、死亡者数は年々増加しています。
肺がんは小さく転移がない早期の状態で見つかれば、手術で完治する可能性が高まります。
ただ、早期の段階では自覚症状があまり出ず気づきにくいため、検診で早く見つけることが重要です。胸部ＣＴ検診は肺がん発見率が胸部Ｘ線検査の約10倍で、早期の段階で見つかる可能性が高い検査です。



早期発見・早期治療のために「胸部ＣＴ検診」をお勧めします！

日程等はＪＡ窓口にお問い合わせください。

ＪＡ島根厚生連



全組合員調査のお願い

組合員の皆さまのご意見をお伺いする取り組み

ＪＡは現在、全ての組合員の皆さまを対象とした全組合員調査を実施しています。
調査では、現在ＪＡが取り組んでいる自己改革に対する組合員の皆さまの評価をお伺いします。
組合員の皆さまからいただいた評価が、今後、政府が行う准組合員のＪＡ事業利用規制のあり方などの検討に向けても重要となります。
つきましては、全組合員調査への組合員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。

災害対策生活資金の取扱期間延長のご案内

平成30年４月に起こりました島根県西部を震源とする地震によって被災された皆さまへ、居住・宅地の修復に要する資金等に対応しました「災害対策生活資金」につきまして、取扱期間を下記のとおり変更いたします。

記

（当初取扱期間）平成30年４月10日～平成31年３月29日

↓

（変更後）平成30年４月10日～令和２年３月31日

お問い合わせ先：JA各支店または、JA融資課（☎ 0854-84-9053）

ぎんざんテレビで放送♪

地サン地ショー Chisun Chishow Cooking クッキング

今月の料理

「山菜の天ぷら」

今月の先生
ちいさなお宿 泉弘坊（川合町）
オーナー
細貝 隆弘さん

＜材料（４人分）＞

小麦粉…………………………………… 100ｇ
卵………………………………………… １個
水……………………………………… 150cc
揚げ油…………………………………… 適量
山菜……………………………………… 適量

＜作り方＞

❶ ボールに卵と水を入れ、混ぜ合わせる。小麦粉を加えて、軽く混ぜ合わせる。

❷ お好みの山菜に衣をつけて、170～180℃の油で揚げる。

＜コツ＞魚介類などを揚げるときは、軽く水気を取り、あらかじめ小麦粉をまぶしておく。

＝ 季節の山菜 ＝

タケノコ

ワラビ

ヨモギ

コゴミ（草ソテツ）

藤の花

もみじがさ

花筏

たらの芽

ウド

コシアブラ

ウルイ

提供：石見銀山産直出荷者協議会

年金無料相談

複雑な年金手続きのお手伝いをいたします。
どなたでもお気軽にご来店ください。

６月２日（日）JA大田北支店 ☎0854-82-7333

※時間は９：00～15：00

JAグリーンおおだ

6月は、休まず営業いたします。

- 毎月５のつく日はポイント５倍！
- 毎月０のつく日は玉子が半額！
- 毎週火曜日は火曜均一セール！
- 毎週木曜日は午後４時から夕方市！

島根産まれの食材レシピ

しまねうれしぴ

料理研究家　土井小百合

あすっこ入り海鮮塩やきそば

●材料（1人分）

中華麺	1玉	水	50cc
あすっこ	1/2束	ガラスープの素	小さじ1
シーフードミックス	100ｇ	塩	小さじ1/4
もやし	1/2袋	こしょう	少々
		サラダ油	適量

●作り方

①あすっこの葉は4～5㎝、茎は2㎝ぐらいに切る。
②もやしは洗い水気を切る。
③中華めんの袋に穴をあけ、電子レンジ（600W）で1分加熱する。
④フライパンにサラダ油を熱しシーフードミックス、もやし、あすっこを炒め、中華めん、水、ガラスープの素、塩、こしょうを入れ味をととのえる。

中華めんをあらかじめ電子レンジで温められない場合は水の分量を増やしてください。あっさりさっぱり！でも、あとを引く味「海鮮塩焼きそば」塩焼きそばは、魚介とよく合います。

そらまめサラダ

●材料（2人分）

そら豆	150ｇ	酢	大さじ1
ミニトマト	6～8個	塩	小さじ1/2
新玉ねぎ	1/2個	オリーブ油	大さじ3
		黒コショウ	少々

●作り方

①そら豆はサヤから出して、黒いつめと逆さに包丁を少し入れる。沸騰した湯に塩を入れ2～3分ゆで、ザルに上げ冷やし（水はかけない）皮をむく。
②ミニトマトは半分に切る。新玉ねぎは繊維と直角に薄く切り水に軽くさらしてから水気を絞る。
③調味料をボウルに入れ泡立て器で混ぜ乳化させドレッシングを作り、水気を切ったそら豆、ミニトマト、新玉ねぎを入れ混ぜる。

甘くてほくほくしたそら豆をあっさり味のドレッシングで和えています。さわやかな初夏に合う料理です。そら豆は鮮度が命！サヤから出したら味も栄養価も低下するので、サヤから出したらすぐ調理しましょう。ゆで方は、皮に少し切れ目を入れて塩ゆでですると、冷めても皮にしわがよらず、きれいにゆであがります。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村　直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は隠岐の島町にある玉若酢命神社の「馬入れ神事」です。島後三大祭りの一つ「御霊会風流」のハイライトである馬入れ神事では、8地区から集まった神馬が、鳥居の前から拝殿を目指して狭い参道を一気に駆け上がります。昭和40年5月に県の無形文化財に指定されました。

編集後記

気温も暖かくなり、今年も家庭菜園に何を植えようか悩む季節がやってきました。我が家の定番はミニトマトですが、一口にトマトと言っても様々な品種がありますし、育てたことのない野菜に挑戦したい気持ちも湧いてきます。素敵な出会いを求めて、産直へ出かけます！（和）

【今月の表紙の原画】
レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

JAしまねびより

本誌は地球環境に優しい植物油インキを使用しております。

VEGETABLE OIL INK

JAしまね　公式ホームページ
https://ja-shimane.jp/

2019年5月15日付発行（月1回発行）
編集／JAしまね　ふれあい福祉課・石見銀山地区本部　企画推進課
発行／島根県農業協同組合　石見銀山地区本部
〒694-0041 大田市長久町長久ハ56-1　TEL.0854-82-1001　FAX.0854-82-0386